

「設定コンセプト：人口減少社会の克服・持続可能なまちづくり」

■ 前回案

「将来像」

大地にいきる歓び 魅力かがやく創造のまち

『意味』

みねの大地を活かし、みねの宝を創造するために挑戦し、産みだした宝を更に市民みんなで磨くことで、美祢市に新たな産業が生まれ、全国に通用することで、経済が豊かになります。

また、それを産みだした市民が美祢市で生きて暮らすことに喜びを感じ、地域経済が豊かになることで、子どもが増え、教育が充実し、地域が元気になると考えます。

その様な秋吉台を中心とした魅力を生み出し、観光や農業、六次産業などの魅力が輝き、多くの観光客や交流が行われるまちを目指します。

「基本理念」

みねの宝の創造・挑戦

～大地を活かし、みんなで磨く～

「意味」

人口減少社会を克服し、持続可能なまちづくりを行うには、力強い産業を創ることで、市の経済に活気をもたらす必要があります。

ただ単に企業誘致や民間企業の力に頼ることを待っているだけでは、全国他市町と変わりなく、逆に埋没していく危険性があります。

10年のまちづくりを見据え行う上で、美祢市で新たな経済を動かす時、本市の一番の強みである「秋吉台」を活用した観光と農業、そして延長線にある六次産業などを本格的な産業化に結びつけることが一番重要であり、行政と市民そして民間など多様な主体の力を結集して取り組めることであると考えます。

各地域は過疎化により自立した自治の運営が困難になりつつあります。

観光と農業や六次産業は、地域にもビジネスをもたらすチャンスであり、これに挑戦していくことは、地域にも市民にも活気をもたらすことができます。

その総合力で美祢市の産業を創り上げていくことは、市民の誇りと夢をもたらし、自信になります。こうした新たな産業を市民の総力で創り上げていくことが、人口減少社会にあっても持続可能なまちを生み出し、市民のそのエネルギーが持続可能なまちづくりを牽引していきます。

「設定コンセプト：人口減少社会の克服・持続可能なまちづくり」

■ 改訂提案

「将来像」

若者・女性・地域がかがやき、こどもの笑い声が響く 誇れる郷土・秋吉台のまち

『意味』

秋吉台を中心として美祢の魅力を活かし、新たに観光と農業や六次産業など本格的な産業化を図ることで、市の経済が好循環し、まちに活力が生まれ、地域経済が発展することで、本市の最大の課題である若者の定住に結び付けていきます。

このことで、その産業に若者や女性、元気な高齢者や地域が共に関わり、新たな産業の担い手になることで、産業の持続化と新たな人材の還流につながります。

また、産業による街の活性化により、若者の定住の課題である生活の利便性、商業やサービスの充実、子育て環境や教育環境の充実を行うことができます。

まちの活気は、女性や地域を輝かせることにもつながります。

このことで、子どもを安心して産み育てられる環境が造られ、まちは子どもと女性、若者や高齢者、地域の人々が集い、にぎわいのあるまちや地域が形成されます。

そこには、子どもの笑い声が響き、それを聞く市民は幸せを感じ、秋吉台のある美祢市に暮らして良かったと実感できます。

「基本理念」

秋吉台の魅力を活かし、みんなの力で創り出す！

「観光・産業 共創CITY」

『意味』

持続可能なまちづくりを行う上では、本市の持つ力を見つめ直し、最大の強み、魅力を最大限活かし、それを活力ある産業化へ育成させることで経済を循環させ、発展のサイクルを創り出していく必要があります。

本市の最大の強み・魅力は「秋吉台」であり、観光のまちです。また、秋吉台など肥沃な大地で育つ秋芳梨・美東ごぼう・厚保栗などがあります。しかし、これらの宝は本格的な産業に至ってならず、このままでは衰退化を起こす危険性があります。

まずは、この美祢の持つ資源に産業というメスを施し、地域の宝を全国に通用するお宝への行政・市民・多様な団体の総力でお宝へ変貌させる、産業を起すことが、美祢の経済の発展につながることを考え、基本理念とします。